

【同じ内容項目をまとめる例】

中学校第2学年 道徳科 学習構想案

日時 令和2年〇〇月〇〇日(〇)第〇校時
 場所 〇年〇組教室
 指導者 教諭 〇〇 〇〇

1 学習構想

主題名	いのちを考える (内容項目D-1(19):生命の尊さ) 生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	
ねらいと教材	(1)ねらい ①北村さんとの出会いから「私」が考える「命」について話し合うことを通して、かけがえのない生命をいとおしみ、限りある生命をかがやかせて生きていこうとする心情を育てる。 ②妹の誕生に対する「私」や「私の家族」の思いを通して、生命のつながりや関わり合いを考え、かけがえのない自他の生命を大切にしていこうとする心情を育てる。 ③「三つのいのち」について互いに意見を述べ合うことを通して、いのちの「有限性・連続性・偶然性」について考え、生命の尊さを深く理解し、かけがえのない生命を大切にしていこうとする態度を育てる。 (2)教材名 ①「奇跡の一週間」 出典「新しい道徳2(東京書籍)」 ②「妹に」 ③「三つのいのちについて考える」	
評価の視点	評価の視点1 (本時①「奇跡の一週間」)	評価の視点2 (本時①「奇跡の一週間」)
	〇限りある生命をかがやかせて生きていくことの尊さについて、多面的・多角的に考え、発言したり話し合ったりしている。	〇かけがえのない生命をいとおむることについて授業全体を通して考えたことを、自分自身の経験と重ね合わせながら発言したり書いたりしている。
目指す生徒の姿		
生命の有限性を意識し、自らの命を輝かせて生きることへの尊さを自覚し、自他の生命を尊重しようとする生徒		
主題に迫る学習課題		本主題で働かせる見方・考え方
課題:①「限りある命をかがやかせて生きるとは」 ②「生命を支えるつながりを考えよう」 ③「三つのいのちについて意見交流しよう」		限りある生命をかがやかせて生きていくことの尊さについて、広い視野から多面的・多角的に捉え、人間としての生き方について考えること。
内容項目相互の関連的・発展的な指導、各教科等や体験活動等との関連的指導		
各教科等	道徳科	日常生活
保健体育科 (授業者の教科) ルールを守り、安全に気を付けながら、互いの頑張り認めながら協力し、自分の力をよりよく発揮する。	2年「奇跡の一週間」(本時) 主題名 いのちを考える(1) <hr/> 2年「妹に」 主題名 いのちを考える(2) <hr/> 2年「三つのいのちについて考える」 主題名 いのちを考える(2)	キャリア教育「基礎的・汎用的能力の育成」 自己理解・自己管理能力、課題対応能力を育成する。 挨拶運動、ボランティア活動、掃除など 自分の弱さに負けず、自分を奮い立たせ、正しいことを勇気をもって行動する。
各教科の学習活動 自分の苦手なところに向き合って努力し、一生懸命に取り組む自分や友達を大事にすることができる。		

2 主題設定の理由

学習指導要領における該当箇所				
中学校学習指導要領「特別の教科 道徳」内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること 19 生命の尊さ 生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。				
本主題における系統（横軸は当該学年でのつながり、縦軸は他学年とのつながり）				
1年「いのちって何だろう」 主題名 いのちを考える(1)	2年「奇跡の一週間」(本時) 主題名 いのちを考える(1)	3年「あなたはすごい力で 生まれてきた」 主題名 いのちを考える(1)		
1年「決断！骨髄バンク移植 第一号」 主題名 いのちを考える(2)	2年「妹に」 主題名 いのちを考える(2)	3年「くちびるに歌をもて」 主題名 いのちを考える(2)		
	2年「三つのいのちについて考 える」 主題名 いのちを考える(2)	3年「人間の命とは」 主題名 いのちを考える(2)		
生徒の実態				
■学習するにあたっての学級及び生徒の様子 明るく元気な学級であるが、一方で、人間関係で悩んでいたりと、家庭環境で様々な思いを抱えていたりする生徒がいる。学習に関しては意欲的に取り組む生徒が多いが、個人差は大きい。短学活など班活動を多く取り入れており、班における繋がり深い。				
■学習に関する意識の状況 本主題に関わる生徒の実態（アンケート38人調査）				
質問事項	とくに◎	まあまあ○	あまり△	ない×
①普段から命について考えることはありますか。	4人	25人	7人	2人
②命は大事なものだと思いませんか。	30人	8人	0人	0人
③「命には限りがある」と感じたことはありますか。	12人	17人	4人	5人
④最近の事件や災害、戦争をどう思いますか。 【その他】つらい、どうしたらなくなるのか、悲しい、 どうして起きるのか、危機感、心配、平和って何？	かわいそ う 10人	自分じゃなく てよかった 5人	無関心 0人	その他 23人
■考察 アンケートの結果から7割以上の生徒が命について考えることがあると答えており、もちろんすべての生徒が命を大切なものと捉えている。ただ、命の有限性については、約24%の生徒が有限性について感じる機会が少ない（「あまり」「ない」としている。理由として、自分自身が元気であることや身近に命の有限性を感じる機会が少ないと答えており、近年の生活様式の変化や自然や人間との関わり希薄さを表している。生命について、連続性や有限性だけでなく、自分が今ここにいることの不思議（偶然性）、社会的関係性や自然界における他の生命との関係性などの側面からより多面的・多角的に捉え、考えさせ、生命の尊さを理解できるようになり、かけがえのない生命を尊重することについてより深く学ぶことができるようにしたいと考える。				
教材の価値				
① 本教材「奇跡の一週間」は、ホスピスで働く「私」と残された生命を全うしようとする末期がん患者の生き方に関する内容である。死を目前にした北村さんの生き方を通して、「私」は別れの悲しさと出会いのうれしさを語っている。死を目前にしても頑張り続ける北村さんのひたむきさを考えることを通して、生命の輝きについて深く考えることができる教材である。				
② 本教材「妹に」は、妹の誕生に対する「私」や「私の家族」の思いを綴った生徒作文である。生命のつながりや関わり合いを考え、かけがえのない自他の生命の大切さを深く考えることができる教材である。				
③ 本教材「三つのいのちについて考える」は、「三つのいのち」について互いに意見を述べ合うことを通して、いのちの「有限性・連続性・偶然性」について考え、生命の尊さを深く理解し、かけがえのない生命を大切にしていこうとする考えを交流する教材である。				

3 指導に当たっての留意点

- 特別の教科化になる以前の道徳の時間では、主題やねらいの設定が不十分な、単なる生活体験の話合いの指導や読み物教材の登場人物の心情理解のみに終始する指導、望ましいと分かっていることを言わせたり書かせたりすることに終始する指導が課題として指摘されていた。今回の学習指導要領改訂では「発達段階に応じ、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の生徒が自分自身の問題として捉え、向き合う『考える道徳』、『議論する道徳』へと転換を図るものである。」とされている。
- 本校では、研究主題を『『考え、議論する』道徳科授業の創造』と設定した。「考え、議論する道徳」を、道徳性を養うという目的を達成するために行う学習活動と定義し、道徳科の授業の質的転換を、本校からスタートしたいと考えた。研究に取り組むにあたり、授業の質的転換の柱として、「発問設定の工夫」、「話合い活動の工夫」、「励まし、伸ばす評価の充実」、「合理的配慮の視点」の4つに重点を置いた。

(1) 発問設定の工夫	○事前アンケートの結果から、「命」は大切だとは分かっているが、その有限性を感じた経験がない生徒が2割を超えるということに気づかせ、「限りある生命をかがやかせて生きるとは」という課題をもたせ、教材や友達の考えや経験から、問題意識をもって学び続ける発問を設定する。 ○主人公の思いや心情の変化を理解するために、「心情円盤」を提示して視覚的に考えの変容が捉えられるようにする。
(2) 話合い活動の充実	○話合いの時間を十分に確保するために、事前に教材文を各自で読んでおく場を設けておき、教材の内容を理解して学習できるようにする。 ○まずは自己内対話の時間を保障し、共感的な反応やお返しを班活動の中で位置付けることで、友達の多様な考えに触れるようにする。 ○多様な感じ方や考え方を生かして主題に迫るために、班活動でホワイトボード(又は付箋)を活用して話し合うようにする。
(3) 励まし、伸ばす評価の工夫	○展開後段で、自分自身を振り返って学習シートに書く活動を通して、授業全体を通して考えたことを綴る時間を設け、自分自身との関わりの中で深めるようにする。
(4) 合理的配慮の視点	○文章を読むことに苦手意識をもつ生徒や、文章理解に時間のかかる生徒には教材を範読しておく。

4 本時の学習

(1) ねらい

北村さんとの出会いから「私」が考える「命」について話し合うことを通して、かけがえのない生命をいとおしみ、限りある生命をかがやかせて生きていこうとする心情を育てる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p>1 アンケートの結果をもとに考える。 ○「命」に関するアンケートの結果を見て感じたことを発表しよう。 ◇「命」について考えることはない。◇意識しない。</p> <p>2 「ホスピス」について考える。 ○ホスピスを知っていますか。ホスピスの患者さんは、どんな人だと思えますか。 ◇かわいそうな人 ◇癌の人 ◇もうすぐ死ぬ人</p>	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果をもとに、命は大切だと思っているが、日頃意識していないことに気づかせたい。 「ホスピスにいる人は死を待つだけなのか？」と投げかけることで、本時の学習課題とつなぎたい。
課題：限りある命を輝かせて生きるとは			
展開	35分	<p>3 教材を読み、話し合う。</p> <p>(1) 「私」が北村さんに絵を頼んだことを後悔した時と、本職のイラストレーターのように注文を付けた時の気持ちの変化を考える。 ○「私」が北村さんに挿絵のお願いをしたことを後悔し、真剣に注文をつけたのはどうしてだろう。 ◇こんなに体力が落ちているのに。 ◇新しい作品を作るのは無理だ。 ↓ (変化) ◇新しい作品をたくさん作る北村さんは真剣だ。 ◇北村さんの思いに真剣に応えたい。 ◇懸命に生きる北村さんの姿勢に心打たれた。</p> <p>(2) 「私」が北村さんの生き方から受け止めた思いについて考える。 ◎「私」が、北村さんとの出会いから受け止めた「かけがえのないもの」とは何だったのだろう。 ◇かわいそうな人じゃなかった。 ◇出会えてよかった。 ◇生きることのすごさを学んだ。 ◇やっぱり命は尊い。 ◇大きな間違いに気づかされた。 ◇最期の最期まで輝いていたい。 ◇言葉にできないぐらいの感謝。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【期待される学びの姿】 班での話し合いの中で、積極的に共感的な反応や返しを行い、さらに多面的・多角的な考えに出会う場として、「どうしてそう思ったの？」と返しができ、自分の納得解を見出している。</p> </div> <p>4 自分を見つめ、これからの生き方につなげて考える。 ○限りある命をかがやかせて生きることをあなたは、どう思いますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中心発問につなげる伏線として、「大きな間違い」という言葉を、範読しながら掲示する。 「私」が同情の気持ちで北村さんを見ていたことに気付かせたい。 絵を描く北村さんの笑顔の写真を提示し、思いを共有させたい。 「私」の気持ちの変化が分かる構造的な板書にする。 ハート型の付箋に考えを書く自己内対話の時間を保障し、共感的な反応やお返しを班活動の中で位置付けることで、友達の多様な考えに触れるようにする。 特に自分の考えと異なる友達の考えには「どうしてそう思ったの？」と返すように指示し、班での交流を深めたい。(個人→班→全体) このような生き方は、北村さんだからできたのではないかとゆさぶることで、自己の生き方についての考えを深めるようにする。
終末	10分	<p>5 ゲストティーチャーの話を聞き、今の思いを綴る。 ○これからの自分は、どんな自分でありたいか考えよう。また、感じたことをまとめよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ゲストティーチャーの話を聞き、さらに心を温めるようにする。 かけがえのない生命をいとおしむことについて授業全体を通して考えたことを、自分自身の経験と重ねながら、ワークシートに書くようにする。

【評価の視点1】 限りある命をかがやかせて生きていくことの尊さについて、多面的・多角的に考え、発言したり話し合ったりしている。(方法：発言・ワークシート)

【評価の視点2】 かけがえのない生命をいとおしむことについて授業全体を通して考えたことを、自分自身の経験と重ね合わせながら発言したり書いたりしている。(方法：発言・ワークシート)

【板書計画】

私 ↓

クラスメイトの姿から
身近なおじいちゃんから

居場所・役割
人としての誇りをもって

北村さん

これから自分 未来に向かって

奇跡の一週間から教えてくれた

出会えてよかった

かわいそうな人じゃない

最期まで輝いていたい

言葉にできないほどの感謝

命は尊い

挿絵

挿絵

写真

新しい作品は無理

お願いしたことを後悔

出会ってから受け止めたかけがえのないもの

懸命に生きる姿に感動

「ホスピス」

ガン患者 もうすぐ死ぬ

かわいそうな人

奇跡の一週間

課限りある命を輝かせて生きるとは

北村さんは真剣だ

大きな間違い

いのち

【ICT活用計画】

アンケートの結果を電子黒板に提示（円グラフなどにして）				
2年〇組 アンケート	とくに◎	まあまあ○	あまり△	ない×
①普段から命について考えることはありますか。	4人	25人	7人	2人
②命は大事なものだと思いますか。	30人	8人	0人	0人
③「命には限りがある」と感じたことはありますか。	12人	17人	4人	5人
④最近の事件や災害、戦争をどう思いますか。 【その他】つらい、どうしたらなくなるのか、悲しい、 どうして起きるのか、危機感、心配、平和って何？	かわいそう	自分じゃなくてよかった	無関心	その他
	10人	5人	0人	23人

命について考える

とくに ◎ まあまあ ○ あまり △ ない ×

命には限りがある

とくに ◎ まあまあ ○ あまり △ ない ×